



入居者様・ご家族様に寄り添って

～少しずつ変わってきた看取りに対する職員の意識～

住吉杉の子園
介護支援専門員 高木紀子
管理栄養士 寺島大輔

住吉杉の子園

ここは生活の場所「家」です。
「自分らしい生活」をしませんか？



- ユニット型特養
- 入居者 長期50名 短期20名



入居者様の現状

- 住吉杉の子園入居者様の約6割が85歳以上
- 大半の方が施設での看取りを希望

看取り介護の人数

- 平成28年度の看取り対象入居者様は7人
- 平成29年度の看取り対象入居者様は4人
- 平成30年度の看取り対象入居者様は1人（7月1日現在）

平成28年度の反省①

- 亡くなる前日に入浴ができてきれいに送り出せてよかった
- 入居者様の要望により用意した義歯の装着をできてよかった
- 息を引き取る際に職員2人に看取られ寂しくなくてよかった

平成28年度の反省②

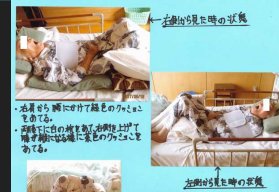
- 皮むけや褥瘡ができてしまい反省した
- インフルエンザの面会禁止時期でご家族に迷惑をかけた
- 最期に着る衣類が準備できていなかった

7件中6件の看取り介護に後悔の意見が見られた

取り組んだこと

- 最善と思われる方法を多職種で考えて情報の共有を行った
- ご本人・ご家族から正確に意向を聞き取る
- ご家族の面会時に細かな様子をお話ししたり環境を整える

取り組んだことの例



平成29年度以降の反省①

- 部屋が遠い場所だったがこまめに訪室できてよかった
- 職員間での情報共有がうまくできていたと思う
- 好きな食べ物を提供できてよかった

平成29年度以降の反省②

- 部屋が遠かったので訪室が少なかった気がする
- 5件中1件の看取り介護に後悔の意見が見られた

取り組んだ結果

- ご家族の面会が増え職員も良好な関係を築きやすくなった
- ご本人が安楽に過ごせるように職員が考える機会が増えた
- 反省にて後悔の意見が減った
(平成28年度 7件中6件 → 平成29年度以降 5件中1件)

今後の看取り介護

- 看取り介護の満足度を一層高めていきたい
- 『自宅で看取りたい』に対応できる体制づくりをする

ご家族からの言葉①

長い間お世話になりました。杉の子園の整った環境と居心地の良さのおかげで長生きができたのだと思います。杉の子園には本当に助けられました。ありがとうございました。

ご家族からの言葉②

思っていたよりはあっけなかったです。自宅で見ていたらここまでのことはしてあげられなかったので、ここでお世話になれてよかったです。父親、母親とも本当にお世話になりました。

ご家族からの言葉③

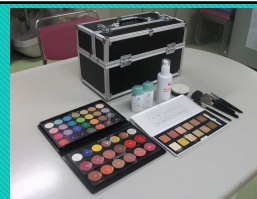
苦しがることなく最期を迎えることができて本当によかったと思います。杉の子園が自分の家だと思っていたので、杉の子園で過ごすことができてよかったです。ありがとうございました。

ご家族からの言葉④

余生をゆっくり過ごしてほしいという思いから特養を希望していました。老健では個室ではなく、また病院へ搬送するため最期をゆっくりと家族で過ごすことはできなかったと思います。短い間でしたが私たちの希望する最期が迎えられて良かったです。

ご家族からの言葉⑤

お部屋の職員さんをはじめ、皆様には本当にお世話になりました。自宅に化粧を直しに来てくださり、最期の最後まで対応していただきありがとうございました。



ご静聴 ありがとうございました

住吉杉の子園